

【報道関係者各位】

SBI リスタ少額短期保険株式会社

[関東財務局長(少額短期保険)第1号]

SBI リスタ少短“地震・防災”に関するアンケート調査を実施

～地震だけでなくあらゆる自然災害への警戒意識、高まる～

SBI リスタ少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：新村 光由）は、少額短期保険会社で唯一の地震費用保険専門の保険会社として、9月1日「防災の日」にあわせて、全国の持ち家（一戸建て、分譲マンション）に住んでいる20代～60代の方を対象に、“地震・防災”に関するアンケート調査を実施いたしました。

本調査は、2012年から毎年実施しており、累計8回目となる調査結果をお知らせいたします。

昨年より地震だけでなく、大きな自然災害が連続して発生しており、この「防災の日」を通じて、過去生じた災害への振り返りと今後の防災にむけた意識の向上、対策の進展があることを願っております。

※参考）防災の日について

毎年9月1日は「防災の日」とされ、この日を含む1週間が「防災週間」と定められています。

これは国や地方公共団体、国民が災害についての認識を深め、災害への備えを強化することで災害による被害の軽減、防止を図ることを目的とされています。

◆アンケート調査結果のサマリー

①地震だけでなく、災害全般への警戒意識、高まる

お住まいの地域での将来の地震発生とご自宅への被害の有無について尋ねたところ、「発生すると思う（どちらかといえばを含む）」が60.7%、「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」が57.7%となり、昨年と比較して低下する結果となりました。（別紙Q1、Q2参照）

一方で、現在不安に感じている災害を尋ねると、地震や豪雨・洪水等だけでなく暴風・竜巻や大規模な火災など、あらゆる自然災害に対して、不安や警戒感が高まっていることが見受けられました。（別紙Q7参照）

②地震被害に対する事前準備がやや進展

地震被害の際の事前準備として、お住まいの地域の地震ハザードマップの確認やご家庭でできる地震対策について尋ねたところ、地震ハザードマップでは約半数の方が「確認したことがある」との回答で「確認したことがない」を上回る結果となりました。（別紙Q3参照）

ご家庭でできる地震被害への事前対策のうち、想定する安否確認手段について、ツイッター等のSNSが昨年と比較して大幅に伸びたことを含め、確認手段の多様化が進んでいる様子がうかがえました。（別紙Q5参照）

③地震被災時の経済的な準備も半数以上の方が対策済

ご自宅が地震被災した際の経済的な準備手段としては、「地震保険」（43.5%）、「地震保険以外の補償」（12.2%）となり、合計すると55.7%の方が保険補償という手段を講じているとの結果となりました。そのうち地震が「発

生ずると思う」と答えた方でみると、その合計比率は75.2%と4分の3以上の方が保険補償手段等で準備している状況がうかがえました。（別紙Q6 参照）

④約8割の方が「防災の日」をご存知

防災の日については、「知っている」「聞いたことがある」と答えた方が8割以上を占めました。9月1日が防災の日であるという正確な認知がある方は、全体のうち59.7%と昨年の57.5%を上回る結果となりました。（別紙Q9 参照）

◆【アンケート概要】

■アンケートタイトル	“地震・防災”に関するアンケート
■リサーチ実施日	2019年7月5日（金）～2019年7月11日（木）
■リサーチ実施方法	インターネットリサーチ
■リサーチ対象 ターゲット	性別：男女 年齢：20代～60代 職業：指定しない 地域：全国 住居形態：持ち家（一戸建て・分譲マンション）
■調査地域	全国
■有効回答数	1,116名
■実施機関	株式会社ジャストシステム

【アンケート実施会社概要】

商号	SBI リスタ少額短期保険株式会社
代表者	新村 光由
登録番号	関東財務局長（少額短期保険）第1号
本社所在地	〒106-6016 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー
URL	https://www.iishin.co.jp/
会社紹介	SBI リスタ少額短期保険は、地震によって被災した後の生活再建を支援することを目的とした「地震被災者のための生活再建費用保険」（愛称：リスタ）および「地震被災者のための生活支援費用保険」（愛称：ミニリスタ）を販売する少額短期保険業者です。

【本リリースのご照会先】

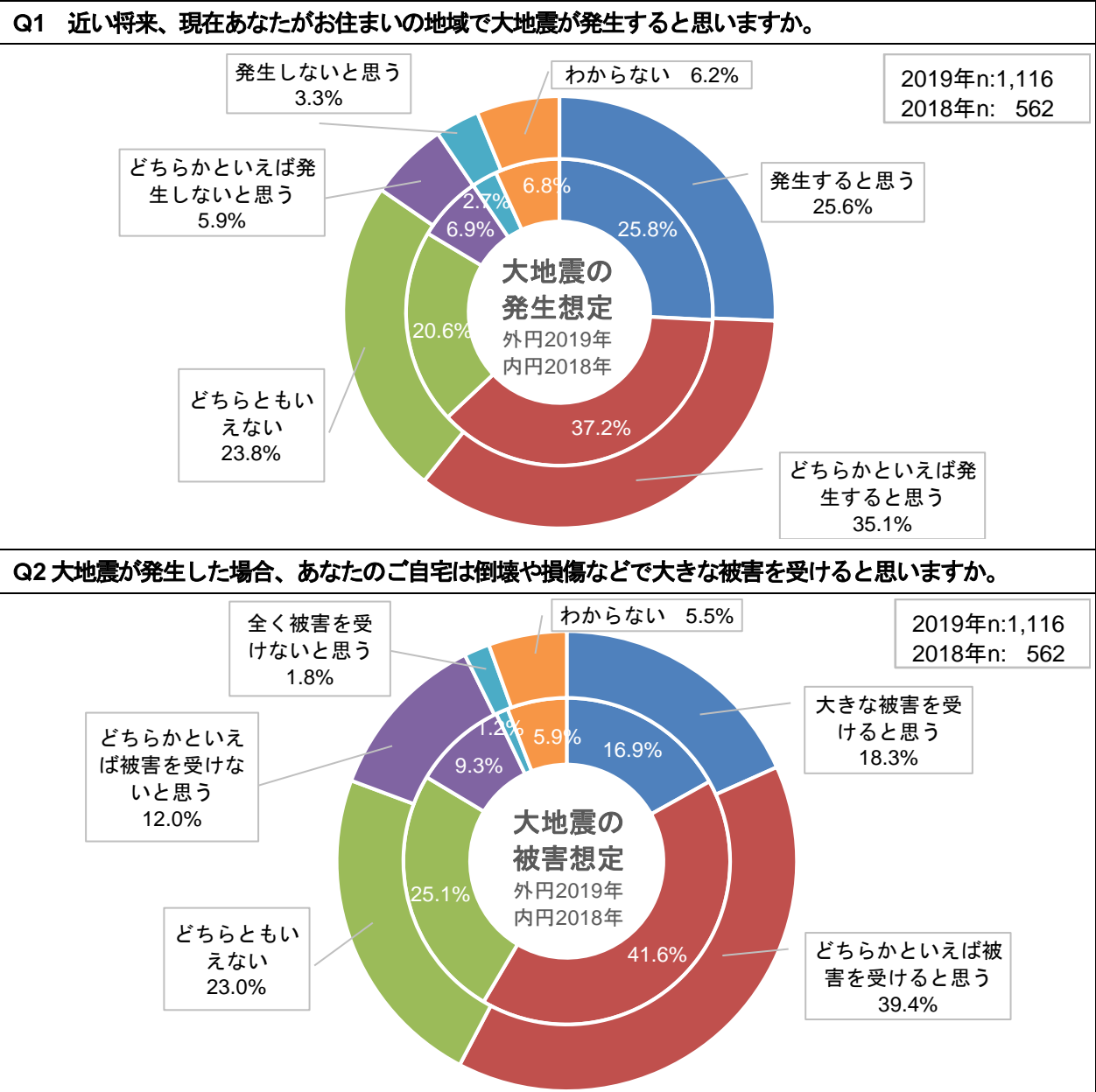
SBI リスタ少額短期保険株式会社 マーケティング部 永井 宏樹 TEL : 03-6229-1014

別紙 “地震・防災”に関するアンケート結果の詳細

(1) -1 地震発生と被害を受ける可能性 (Q1、Q2 参照)

・現在お住まいの地域で将来の地震発生とご自宅への被害を受ける可能性について尋ねたところ、「発生すると思う（どちらかといえばを含む）」が60.7%（昨年63.0%）、「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」が57.7%（昨年58.5%）といずれも昨年と比較して低下する結果となった。昨年6月の大阪府北部地震以降、ここ1年間では、震度6弱以上の地震が計5回も発生しているにもかかわらず、比較的人的被害・物的被害の程度が軽かったためかと想定される。

・ただし、地震発生の想定については、「発生すると思う（どちらかといえばを含む）」で低下した比率は「どちらともいえない」層の増加につながっているのみで、「発生しないと思う（どちらかといえばを含む）」の比率は、ほぼ同率となっている。



・さらに、2013年から7年間の回答結果の推移をみると、アンケート実施前後に大きな地震の発生の有無によって、地震への警戒意識が増減している傾向にあることがうかがえる。

2013年～2019年における大地震および被害発生の可能性に対するアンケート結果抜粋

実施年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
発生する	59.0%	58.5%	58.1%	61.5%	54.9%	63.0%	60.7%
被害を受ける	60.9%	56.4%	59.3%	61.9%	57.8%	58.5%	57.7%
主な大地震 (最大震度)	13/4淡路島 付近(6弱)	14/11長野県 北部(6弱)		16/4熊本地方(7) 16/10鳥取中部(6弱) 16/12茨城北部(6弱)		18/6大阪北部(6弱) 18/9北海道胆振(7)	19/1熊本地方(6弱) 19/2北海道胆振(6弱) 19/6山形県沖(6強)

(1) -2 地域別の地震発生と被害を受ける可能性 (Q1、Q2 参照)

・地震発生、ご自宅への被害を受ける可能性について、地域別にみると、次の通り、大きな差異がみられた。

※この項では「発生すると思う」「被害を受ける」とともに「どちらかといえば」を含む

- ① 地震発生の想定では、東北・関東・中部・近畿地方では「発生すると思う」比率が高く、北海道と中国・九州地方では「発生しないと思う」の比率が高いという結果となった。四国地方は「どちらともいえない」の回答が47.4%と最も高い数値となった。
- ② 地震被害の想定では、地震発生の場合と比較すると、極端な違いはみられないものの、地震が「発生すると思う」が高い地域では、「被害を受けると思う」比率も高くなるなど、少なからず相関関係はあると思われる結果となった。

	回答総数	①地震発生の可能性			②被害を受ける可能性		
		発生する	どちらとも いえない	発生しない	被害を 受ける	どちらとも いえない	被害を 受けない
北海道	54	40.7%	22.2%	27.8%	61.1%	13.0%	22.3%
東北地方	67	77.6%	11.9%	7.5%	53.7%	20.9%	22.4%
関東地方	440	64.4%	22.5%	6.6%	55.9%	25.2%	13.7%
中部地方	180	69.5%	17.8%	8.3%	62.2%	25.0%	7.3%
近畿地方	216	62.0%	25.9%	5.5%	58.8%	19.9%	14.8%
中国地方	56	37.5%	35.7%	17.9%	59.0%	21.4%	12.5%
四国地方	19	31.6%	47.4%	10.5%	47.4%	21.1%	26.3%
九州地方	84	41.7%	35.7%	17.9%	57.2%	25.0%	11.9%
全体	1,116	60.7%	23.8%	9.2%	57.7%	23.0%	13.8%

(注) 全体の平均値と比較して、最も高い比率に黄色、最も低い比率に水色をマーク

(1) -3 地震発生と被害を受ける可能性の相関関係 (Q1、Q2 参照)

・地震発生とご自宅への被害を受ける可能性についてクロス分析でみると、次表の通り、地震が「発生すると思う」かつ「自宅の被害を受けると思う」方は、合計で42.3%となり、一方地震は「発生しないと思う」、かつ「自宅の被害も受けないと思う」方は、4.2%に留まり、約10倍の差がでる結果となった。

※この項では「発生すると思う」「被害を受ける」とともに「どちらかといえば」を含む

		回答 総数	Q2 大地震が発生した場合、あなたのご自宅は倒壊や損傷などで被害を受けると思いますか。					
			大きな被害を受け ると思う	どちらか といえば 被害を受 けると思 う	どちらと もいえな い	どちらか といえば 被害を受 けないと 思う	全く被害 を受けな いと思う	わから ない
Q1	全体	1,116	204	440	257	134	20	61
あなたが お住まい の地域で 大地震が 発生する と思いま すか。	発生すると思う	286	10.9%	9.7%	2.3%	2.1%	0.3%	0.4%
	どちらかといえば発生すると思う	392	3.6%	18.1%	8.9%	3.9%	0.3%	0.4%
	どちらともいえない	266	2.3%	8.9%	9.6%	2.5%	0.0%	0.5%
	どちらかといえば発生しないと思う	66	0.4%	1.7%	1.3%	2.2%	0.3%	0.1%
	発生しないと思う	37	0.4%	0.3%	0.4%	0.8%	0.9%	0.5%
	わからない	69	0.6%	0.8%	0.6%	0.4%	0.1%	3.6%

(2) 地震被害への事前準備対策について (Q3、Q4、Q5 参照)

・地震被害への事前準備対策として、お住まいの地域の地震ハザードマップの確認と各ご家庭でできる地震対策（事前準備、安否確認）の内容について尋ねた。

① 地震ハザードマップについては、「確認したことがある」（47.1%）が、「確認したことがない」（40.7%）を上回る結果となった。

さらに「確認したことがある」方のうち、地震が「発生すると思う」が61.2%、「どちらかといえば発生すると思う」が52.6%と半数以上の占率に上昇する結果となり、地震ハザードマップが地震被害の際の避難場所や避難ルートの確認に役立つため、活用されていると考えられる。

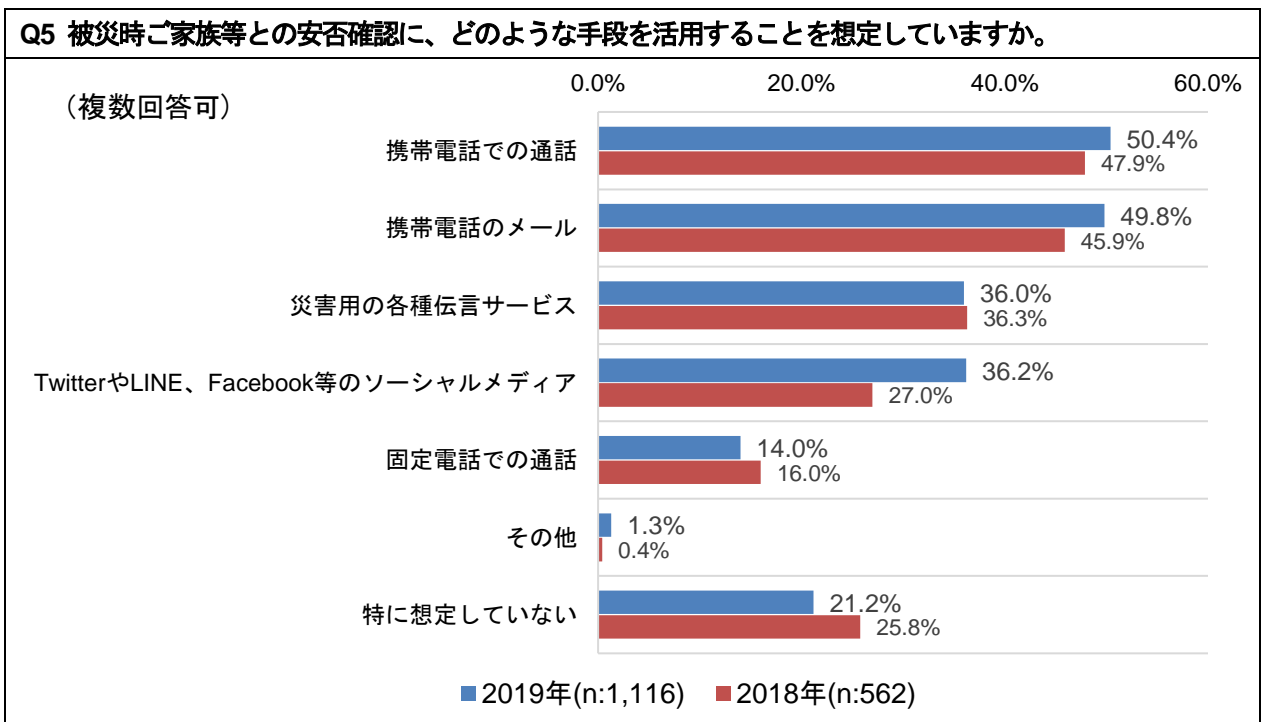
		回答 総数	Q3 お住まいの地域の「地震ハザードマップ(震度被害等)」を確認したことはありますか。			
			確認した ことがある	確認した ことがない	現在地域では作 成されていない	わからない
Q1	全体	1,116	47.1%	40.7%	3.1%	9.1%
あなたが お住まい の地域で 大地震が 発生する と思いま すか。	発生すると思う	286	61.2%	33.2%	0.7%	4.9%
	どちらかといえば発生すると思う	392	52.6%	40.6%	1.8%	5.1%
	どちらともいえない	266	36.1%	50.0%	3.0%	10.9%
	どちらかといえば発生しないと思う	66	36.4%	40.9%	13.6%	9.1%
	発生しないと思う	37	27.0%	45.9%	10.8%	16.2%
	わからない	69	21.7%	33.3%	7.2%	37.7%

② 各ご家庭で行っている地震対策については、非常用の食料・水の準備（47.7%）が最も高く、続いて避難グッズ（35.4%）、家具の転倒・落下対策（33.5%）との回答となった。

さらに、地震が「発生すると思う」と回答した方でみみると、非常用の食料・水の準備と避難グッズ用意は半数以上の方が対策しているとの結果となる一方、「発生しないと思う」方と「わからない」と答えた方では、半数以上の方が「特に対策していない」との回答となった。

		回答 総数	Q4 あなたのご家庭で行っている地震対策を教えてください。(複数回答可)					
			避難グ ズを用意	非常用の 食料・水を 準備	家具の 転倒・落 下対策	家族で 避難場所 を決定	特に対策 なし	その他
Q1	全体	1,116	35.4%	47.7%	33.5%	25.0%	32.3%	0.7%
あなたが お住まい の地域で 大地震が 発生する と思いま すか。	発生すると思う	286	52.1%	59.8%	44.8%	30.4%	19.9%	1.7%
	どちらかといえば発生すると思う	392	35.7%	56.4%	36.7%	30.4%	24.7%	0.5%
	どちらともいえない	266	27.8%	36.5%	27.8%	16.2%	41.7%	0.4%
	どちらかといえば発生しないと思う	66	27.3%	36.4%	18.2%	21.2%	39.4%	0.0%
	発生しないと思う	37	13.5%	29.7%	10.8%	10.8%	56.8%	0.0%
	わからない	69	13.0%	11.6%	17.4%	17.4%	69.6%	0.0%

③ 地震被災時の安否確認方法については、約半数の方が「携帯電話での通話やメール」を手段として活用すると回答しており、いずれも昨年の数値を上回る結果となった。昨年との比較で大きく上昇した手段は「TwitterやLINE、Facebookなどのソーシャルメディア」が27.0%から36.2%に上昇するとともに、安否確認方法を「想定していない」方が昨年と比較して減少している結果となるなど、携帯を活用した安否確認手段の多様化が進んでいることがうかがえる。



(3) 地震被害への経済的準備対策 (Q6 参照)

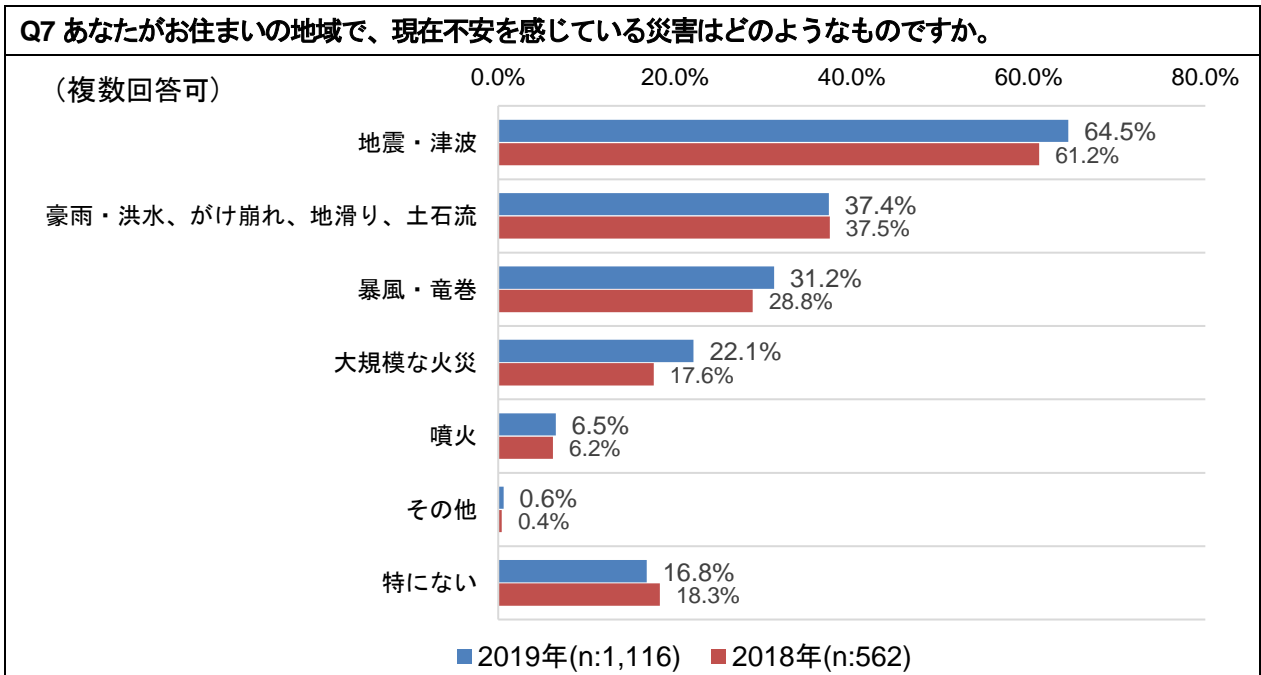
- ・地震被災時のご自宅の再建費用の捻出手段を尋ねたところ、「地震保険」(43.5%)、「地震保険以外の補償」(12.2%)と合計すると55.7%の方が保険補償手段で対策を講じているとの回答となった。
- さらに、地震が「発生すると思う」方でみると、地震保険(57.0%)、地震保険以外の補償(18.2%)の合計は75.2%と4分の3以上の方が保険補償手段で準備している結果となった。

		回答 総数	Q6 ご自宅が「地震」で被災した際に、ご自宅を再建する費用の捻出方法としてどのような準備をしていますか。(複数回答可)				
			地震保険	貯蓄やその 他金融資産	地震保険 以外の補償	特に準備は していない	その他
Q1	全体	1,116	43.5%	31.7%	12.2%	38.9%	0.9%
あなたが お住まい の地域で 大地震が 発生する と思いま すか。	発生すると思う	286	57.0%	38.8%	18.2%	30.4%	2.1%
	どちらかといえば発生すると思う	392	43.9%	34.4%	10.2%	36.0%	0.0%
	どちらともいえない	266	38.0%	26.7%	10.5%	41.7%	1.5%
	どちらかといえば発生しないと思う	66	45.5%	34.8%	12.1%	33.3%	0.0%
	発生しないと思う	37	21.6%	24.3%	13.5%	54.1%	0.0%
	わからない	69	15.9%	7.2%	4.3%	76.8%	0.0%

(4) 災害・防災全般への意識 (Q7、Q8 参照)

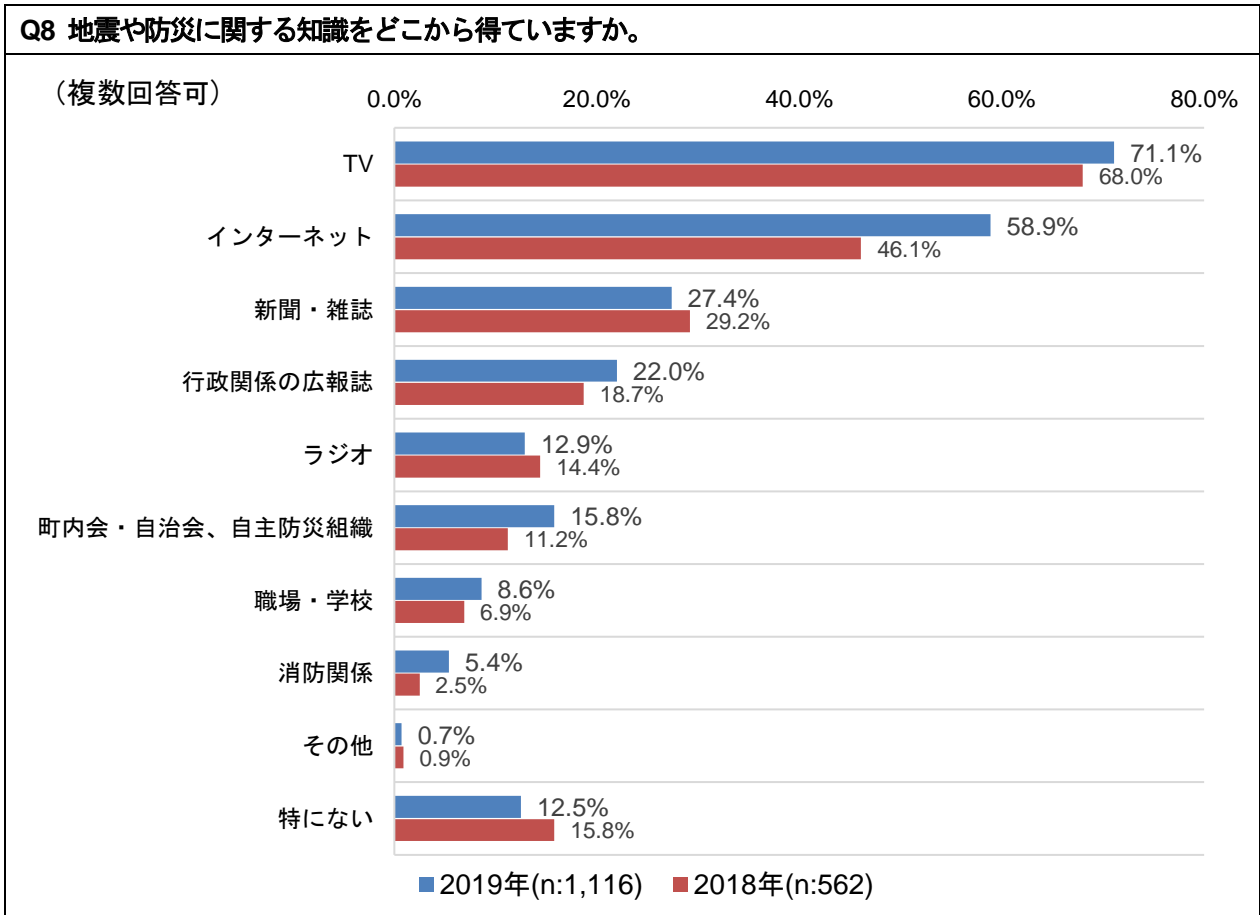
- ・昨年から、地震を含め、風水害や土砂災害などが多発しているため、昨年に引き続き、現在、不安に思っている災害はどのようなものがあり、防災の知識をどこから得ているかを尋ねた。

- ① 現在、不安に感じている災害については、最も回答が多かったのが「地震・津波」(64.5%)、次に「豪雨、洪水、がけ崩れ、地滑り、土石流」(37.4%)が高位であるが、昨年調査と比較して、ほとんどの災害において、不安を感じている方が増加している結果となった。



② 防災に関する知識をどこから得ているかについては、「テレビ」(71.1%)が最も多く、次いでインターネット(58.9%)となり、ともに過半数を超える結果となった。

昨年と比較して増加した手段は、「インターネット」が46.1%から58.9%と最も伸長し、続いて「行政関係の広報誌」や「町内会・自治会などの自主防災組織」から情報を得ているとの回答が3~4%ポイント増加している結果となった。

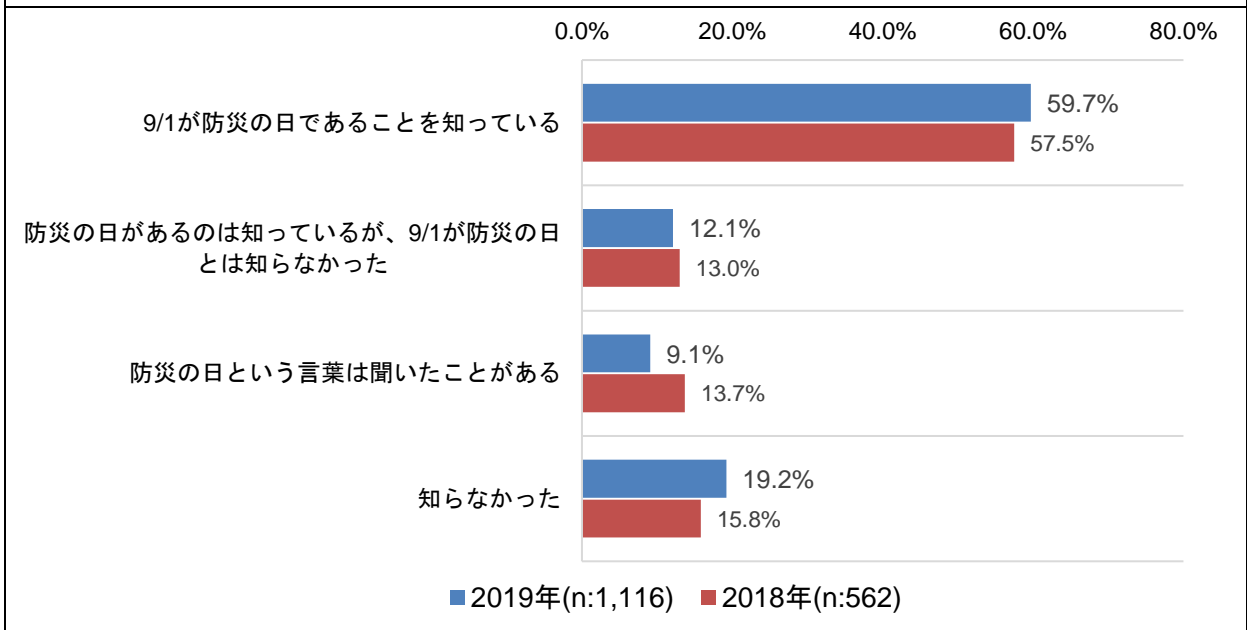


(5) 「防災の日」に関する意識 (Q9 参照)

・「防災の日」について尋ねたところ、「9月1日が防災の日であることを知っている」(59.7%)という回答結果となり、6割弱の方に正確な認知があり、さらに「防災の日があるのは知っているが、9月1日ということまでは知らなかった」(12.1%)、「防災の日という言葉は聞いたことがある」(9.1%)という回答結果を合計すると、8割以上の方が「防災の日」を知っているという結果となった。

このうち、「9月1日が防災の日であることを知っている」方は、昨年の数値を上回っており、Q8の防災に関する知識の習得が行政関係の広報誌をはじめ、様々な手段で増加していることと符合している結果となった。

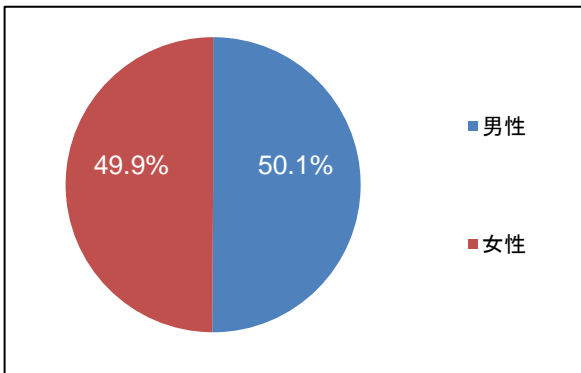
Q9 毎年9月1日は「防災の日」であることをご存知ですか。



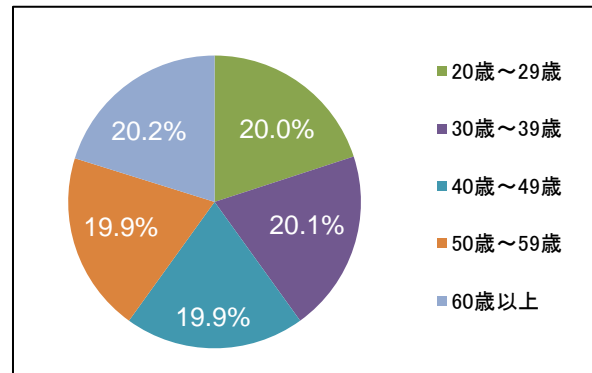
以上

■アンケート回答者属性

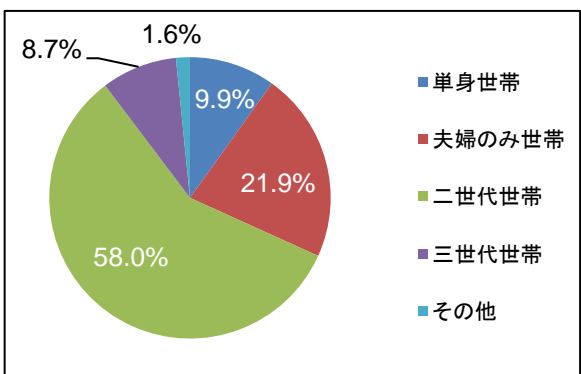
【1】男女別の割合 (n=1,116)



【2】年齢別の割合 (n=1,116)



【3】世帯別の割合 (n=1,116)



【4】地域別の割合 (n=1,116)

